

保護者様

富士市立富士中央小学校
校長 望月 和洋

令和6年度 第1回「学校評価」集計結果の報告

保護者の皆様には、日頃より本校の教育に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、4月から7月までのお子さんの様子や御家庭における保護者の皆様の取組、富士中央小の教育活動を振り返り「学校評価」をしていただきました。まもなく前期を終える時期となりますので、結果を御報告するとともに、後期や来年度の教育活動の改善に結果を生かしてまいります。今後も子供たちのより良い成長を目指して、家庭と地域、そして学校との連携を深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

第1回学校評価 共通・類似質問事項 肯定的な回答の割合

※（ ）は昨年度の第1回の数値、**太字**は目標の対象

※数値は四捨五入して提示

共通・類似質問事項 ()内は類似した保護者又は教師への質問		グランドデザイン の数値目標	児童	保護者	教師
①	学校生活は楽しいですか。 (よい表情で学校に行っている。)	92	94 (94)	94	100
②	授業はよく分かる。(授業をよく理解している。)	90	91 (91)	92	94
③	先生や友達に自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる。(伝えられている。)	75	85 (80)	82	71
④	家で、自分で計画を立てて勉強している。 (計画的に勉強している。)	富士市の到達目標 65	66 (70)	62	65
⑤	自分の好きな学習がある。	98	98 (97)	99	100
⑥	もっと知りたい、もっと学びたいことがある。	88	91 (92)	95	100
⑦	I C T機器を授業で活用している。	95	92 (91)	72	100
⑧	1か月に7冊以上読書をしている。 (進んで読書をしている。)		63 (68)	57	71
⑨	自分のことを大切にしている。	95	93 (92)	98	100
⑩	友達のことを大切にしている。	98	99 (99)	100	94
⑪	自分から進んであいさつをしている。	85	87 (88)	80	59
⑫	自分から進んで係・委員会活動を行っている。	88	91 (89)	93	82
⑬	友達と運動することが楽しい。	95	96 (95)	94	100
⑭	運動にあきらめずに挑戦している。	88	90 (88)	86	59
⑮	学校生活の中で安全に気を付けて生活している。	96	96 (94)	90	41
⑯	困ったことを富士中央小の先生に気軽に相談できる。	95	86 (71)	88	
⑰	富士中央小学校は、安心して子供を任せられる。			98	

★学校生活全体に関して

「学校は楽しい。」「よい表情で学校に行っている。」は、94%の子供と保護者の皆様、全教員が肯定的に捉えています。また、「困ったことを富士中央小の先生に気軽に相談できる」の子供たちの数値は、前年度に比べ15%高くなっています。これらの数値の高さが「安心して子供を任せられる」98%という保護者の皆様の数値にもつながっていると考えられます。

後期も学校経営目標に掲げる「主体的に友達とかかわり合い、一人一人が温かい気持ちで支え合う学校づくり」を築いていけるように、子供たち一人一人を大切に思い、支えていきます。

★授業や学習面に関して

今年度も『友達とかかわりながら学びを深めていく子の育成～THANKSが生まれる授業～』（T：達成感・H：発見・A：相手を意識した聴き方、話し方・N：納得・K：共感、感動がS：複数、たくさんある授業）を行い、授業の充実を図り、確かな学力の定着を目指しています。また、各学級で目指す授業や重点項目を話し合う時間を十分にとったり、教室や職員室前廊下に掲示したりして、意識を高めています。

「先生や友達に自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる。」では、三者共に数値を伸ばしています。特に、教師の数値は20%ほど高くなっています。「ICT機器を授業で活用している。」の数値も伸びているように、授業での活用も年々増えています。そして、子供たちは授業に限らず、宿題や行事、委員会や係に関する特別活動など様々な場面で、自分の考えや調べたことをまとめたり、発表したりすることに上手にタブレットを活用しています。子供たちの慣れは速く、自分の考えを伝える手段の一つであるタブレットを扱う技術が、どんどん身に付いています。本校の研修で大切にしていることの一つであるノートづくりの力を高めていくことと合わせながら、今後も子供たちの学びに向かう意欲を高めていきたいと思ひます。

★挨拶、係・委員会などの活動に関して

「自分から進んであいさつをしている。」では、子供たち（87%）と教師（59%）との間に大きな差が見られます。今年度、富士中学校区三校で、あいさつを広げようと各校で取り組んでいます。本校では今年度も生活委員会の子供たちが休み時間にあいさつをしながら校舎内を歩き回ったり、元気なあいさつをしているクラスを昼の放送で発表したりする活動を通して、あいさついっぱい学校にしよう頑張っています。教師も登下校の際の昇降口や日中に廊下や階段などで子供とすれ違う際には、あいさつをしたり声を掛けたり意識して過ごしています。今後も、今まで以上に家庭や学校、地域が一体となって挨拶を広げ根付かせていけるとよいと思ひます。

★運動・安全面に関して

昨年度と同様に、「学校生活の中で安全に気を付けて生活している。」では、子供たちと保護者の皆様の数値に比べ、教師の数値が50%近く低いものになっています。例年通り、学校では、教室・廊下・階段の歩き方等の校舎内での過ごし方、帰宅後の遊び方など、自分の命を自分で守ることと同時に、周囲の方のことも考えて行動することについて、様々な場面で指導を続けています。首から上のけがなどによる保健室の来室は減ってきていますが、教室や廊下を走っている危険な場面、下校時の歩き方や帰宅後の公園等での過ごし方について、地域の方から御指摘を受けるような連絡など、心配な事象が残念ながら多く見られます。教師の数値については、子供たちの安心安全な生活を築いていく意識を常に持っている中での数値であると御理解いただければと思ひます。

★保護者アンケートの御意見より

本校の教育をより良いものにしていくための御意見や御提案をたくさんいただきました。すべてにお答えすることはできませんが、学校の考えや対応をお知らせします。

・「熱中症が心配なので、日傘の使用を可能にさせていただくことは難しいでしょうか？」「プールの授業の際に、見学者が室内で自習などして過ごせるようにしてほしい。

→現在、実際に日傘を使用している児童もいます。また、プールの見学も職員室等で行い、他の教員が様子を見る対応をとっていました。保護者の皆様への周知が十分でなく、申し訳ありませんでした。来年度以降も十分な暑さ対策をしていきながら、子供たちの体調管理を行っていききたいと思ひます。

・「一年生も電子でアンケートをやってもらえとお互いに楽でいいと思う。」

→アンケートの実施の際に学校でも検討しましたが、タブレットの扱いや持ち帰りの際の注意事項等、一年生の7月の時期にはまだ指導が十分ではないという判断で、紙媒体での実施をさせていただきました。子供たちの実態に合わせて、よりよい方法を検討していきます。貴重な御意見ありがとうございました。